

放射線影響研究所寿命調査循環器疾患死亡率データ

この文書は寿命調査における 1950-2003 年の循環器疾患死亡率の解析に用いられたデータについて説明するものである。これらの解析結果は、BMJ に掲載された論文に説明されている (Shimizu Y, Kodama K, Nishi N, Kasagi F, Suyama A, Soda M, Grant EJ, Sugiyama H, Sakata R, Moriwaki H, Hayashi M, Konda M, Shore RE. Radiation exposure and circulatory disease risk: Hiroshima and Nagasaki atomic bomb survivor data, 1950-2003. Br Med J. 2010, 340:193 (Full article online: doi10.1136/bmj.b5349))。

公表されたデータのファイルは以下の通りである。

lssevd10.dat	循環器疾患死亡率データファイル、1 行目には変数名が入っているコンマ区切りの文書ファイル
lssevd10.scr	データファイルを読み取り、当該論文で使用されている基礎的モデルをあてはめるための Epicure (AMFIT) コマンドスクリプト
lssevd10.log	lssevd10.scr により作成されたログファイル

データセットは、人年、死亡数、ならびに各被爆者のデータから構築した要約データを詳細な表にしたものである。解析対象者は 86,611 人の被爆者である。各被爆者データは、都市、性、被爆時年齢、年齢、暦年および線量別に層化されている。

以下に示す最初の 6 個の変数は、表の作成に用いた交差分類を示す指標で、次の 5 個は各セルの調査対象者数、人年数、および被爆時年齢、到達年齢、結腸線量のセル別平均値である。続く 8 個の変数は疾患死亡数を示す。

これらのデータを研究報告書や業績報告書など、何らかの出版物のための解析の基盤として使用する場合には、原稿に謝辞を加えなければなりません。謝辞は以下の通りとします。

用いたデータは広島および長崎の放射線影響研究所 (放影研) から入手したものである。放影研は、日本の厚生労働省ならびに米国の学士院を通じてエネルギー省により資金提供を受けている公益法人である。この報告書に示した結論

は著者のものであり、必ずしも放影研またはその資金提供機関の判断を反映するものではない。

これらのデータを利用して書いた論文の別刷りを1部、下記宛にお送りください。

〒732-0825
広島市南区比治山公園 5-2
放射線影響研究所
情報技術部 図書資料課 資料係

これらのデータは放影研ホームページより入手可能です。(http://www.rerf.or.jp)

詳細説明：

名称	説明およびコード
c	都市 1: 広島 2: 長崎
s	性 1:男性 2:女性
agexcat	被爆時年齢区分 1: 0- 5 years old 9: 40-45 2: 5-10 10: 45-50 3: 10-15 11: 50-55 4: 15-20 12: 55-60 5: 20-25 13: 60-65 6: 25-30 14: 65-70 7: 30-35 15: 70+ 8: 35-40
agecat	到達年齢区分 1: 0- 5 years old 12: 55-60 2: 5-10 13: 60-65 3: 10-15 14: 65-70 4: 15-20 15: 70-75 5: 20-25 16: 75-80 6: 25-30 17: 80-85 7: 30-35 18: 85-90 8: 35-40 19: 90-95 9: 40-45 20: 95-100 10: 45-50 21: 100+ 11: 50-55

ctime	暦年区分 1: 1950/10/1 – 1955/12/31 2: 1956/1/1 – 1960/12/31 3: 1961/1/1 – 1965/12/31 4: 1966/1/1 – 1970/12/31 5: 1971/1/1 – 1975/12/31 6: 1976/1/1 – 1980/12/31 7: 1981/1/1 – 1985/12/31 8: 1986/1/1 – 1990/12/31 9: 1991/1/1 – 1995/12/31 10: 1996/1/1 – 2000/12/31 11: 2001/1/1 – 2003/12/31
dosecat	DS02 加重結腸線量区分 1: 0- 5 mGy 2: 5- 20 3: 20- 40 4: 40- 60 5: 60- 80 6: 80- 100 7: 100- 125 8: 125- 150 9: 150- 175 10: 175- 200 11: 200- 250 12: 250- 300 13: 300- 500 14: 500- 750 15: 750- 1000 16: 1000- 1250 17: 1250- 1500 18: 1500- 1750 19: 1750- 2000 20: 2000- 2500 21: 2500- 3000 22: 3000+
subjects	観察対象者；はじめの時間区分における人数
pyr	観察人年
agex	人年加重平均被爆時年齢（才）
age	人年加重平均被到達年齢（才）
colon10	DS02 加重結腸線量 (mGy)
	死亡数 (原死因)
circulatory disease (CVD)	すべての循環器疾患；ICD9 th 390-459
stroke	脳卒中；ICD9 th 430-438
heartd	心疾患；ICD9 th 393-429 (excluding 401, 403, and 405)
othcvd	その他の循環器疾患；ICD9 th (390-459) – (430-438) – (393-429 (excluding 401, 403, and 405))
	死亡数 (原死因または副因)
circulatory disease (conCVD)	すべての循環器疾患；ICD9 th 390-459
constroke	脳卒中；ICD9 th 430-438
conheartd	心疾患；ICD9 th 393-429 (excluding 401, 403, and 405)
conothcvd	その他の循環器疾患；ICD9 th (390-459) – (430-438) – (393-429 (excluding 401, 403, and 405))

2014年9月に、“conothcvd”，その他の循環器疾患（原死因または副因）の死亡数にエラーがあることが判明しましたので、データファイル（lsscvd10.dat, lsscvd10.log）を訂正しました（2014年9月5日）。